

区の補助計画等のまとめ	1 スポーツ振興分野の政策課題	2 課題解決に向けた施策の方向性
	<p>(1)スポーツ実施率の向上 区民のスポーツ実施率を、計画目標である65%(平成37年度まで)に向上させる必要がある。特に実施率の低い層(ビジネスパーソン、女性、障害者等)や無関心層をターゲットにした取り組みが求められている。</p> <p>(2)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会終了後のスポーツ機運の維持・向上 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で向上したスポーツ機運を、大会終了後も引き続き維持・向上していく必要がある。</p> <p>(3)健康増進や健康寿命の延伸 高齢者層の健康・体力の保持を図るため、無理のないスポーツ・レクリエーションのプログラムを活用し普及するなど、関係組織との連携による「スポーツと健康増進」事業の展開が求められている。</p> <p>(4)老朽化した区立体育施設の改修・改築 区有施設見直し方針を踏まえ、老朽化した区立体育施設の改修・改築の計画を策定する必要がある。</p>	<p>【5年後】</p> <p>(1)子どもがスポーツに親しむ機会を充実する。 (2)区民のライフステージに応じたスポーツ活動を推進する。 (3)障害者がスポーツに親しむ機会を充実する。 (4)区民が主体的に参画し、コミュニティ形成につながる地域スポーツ環境を整備する。 (5)みる「支える」スポーツを推進する。 (6)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会終了後のスポーツ機運を維持・向上する。 (7)区民が気軽にスポーツができる環境を整備する。</p> <p>【10年後】</p> <p>(1)スポーツが生活に身近な活動であるという意識を浸透していく。 (2)スポーツ無関心層に対する誘引策に取り組んでいく。 (3)指導者や仲間、場所のマッチング機能の整備によるスポーツに容易に取り組める環境を実現していく。 (4)スポーツの継続的な実施による健康寿命の延伸と健康長寿社会を実現していく。</p>



審議会まとめ	3 審議会での主な意見	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競技者を増やすことや競技スキルを向上させることとともに、指導者を育成することも重要である。 ○ 世界中で求められている正しいスポーツ指導者の育成をどうするか、区として検討する必要もある。 ○ 世界中にある多種多様なゲームを大人も子どもも誰もが楽しめる環境を、区として整えるのかどうか方針の検討も必要である。 ○ 障害者や子どもも含め、誰もが同じ競技に参加し、一緒に取り組めるような仕組みをつくることも重要である。 ○ コミュニティの中でどのようにスポーツを組み込んでいくかが求められている。 そうしたことを考えていくときには、外国人との共生も課題解決の方向性として盛り込むことを検討してはどうか。 ○ 子どもが自由に遊ぶことのできる場所や機会を創出するには、分野横断的な議論が必要不可欠だろう。 	
審議会まとめ	4 スポーツ振興分野の概ね20年後の区の将来像やあるべき姿【キーワード】	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツを支える人材や指導者の育成 ○ 年齢や障害の有無に関わらず誰もがともにスポーツに親しむ機会の創出 ○ ライフステージに応じたスポーツに親しむ機会の充実 ○ 子どもがスポーツに親しむ機会の充実 ○ 障害者スポーツの推進 ○ スポーツを通したコミュニティ形成 	